国土交通省東北地方整備局
Tohoku Regional Bureau
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

記　者　発　表

平成３０年　６月１５日
三　春　ダ　ム　管　理　所

リフレッシュ放流でダム下流河川の環境改善
～　一時的に放流量を増やして川をきれいに　～

○三春ダム管理所では、6月22日から10月5日までの隔週でリフレッシュ放流を実施し、下流河川のよどみの解消・付着藻類の更新等を促し、河川環境の改善を図ります。
○この際、外来魚（ブルーギル）の数を減らす取り組みとして、産卵後に貯水位を下げることで産卵した卵を干し上げ駆除する操作も合わせて実施します。
◎リフレッシュ放流により、赤沼地点※において大滝根川の水位が一時的に**最大70cm程度上昇する**見込みですので、河川を利用される方は十分に注意してください。

※赤沼地点：赤沼水位観測所（郡山市中田町大字高倉地内、赤沼橋下流）

■リフレッシュ放流の概要

夏場にダム下流の大滝根川の流量が減少して発生する「よどみ」等の河川環境の劣化に対し、ダム流下量を一時的に最大毎秒20m3（通常は毎秒2～3m3）に増加させることで、

①川の石に付着した古い付着藻類を洗い流し、新しい付着藻類の成長を促す

②川のよどみ（臭気等）の解消

による底生動物・魚類の良好な生育環境の保全と河川環境の改善を図ります。

■「ブルーギル産卵床の干し上げ」の概要

リフレッシュ放流の際、一定期間貯水位を保って外来魚（ブルーギル）の産卵を促し、産卵後に貯水位を下げることで、産卵した卵を干し上げて数を減らす取り組み（平成24年度から実施）。

■リフレッシュ放流状況と効果　　別紙－１
■リフレッシュ放流を利用したブルーギル産卵床の干し上げ　　別紙－２

※降雨や放流量の状況により中止または実施日を変更することがあります。

【発表記者会　郡山記者クラブ】

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　三春ダム管理所
福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4
電　話　0247-62-3145　ＦＡＸ　0247-62-3170
管理所長　中川（なかがわ）　博樹（ひろき）　（内線２０１）
管理係長　松崎（まつざき）　厚史（あつし）　（内線３３２）

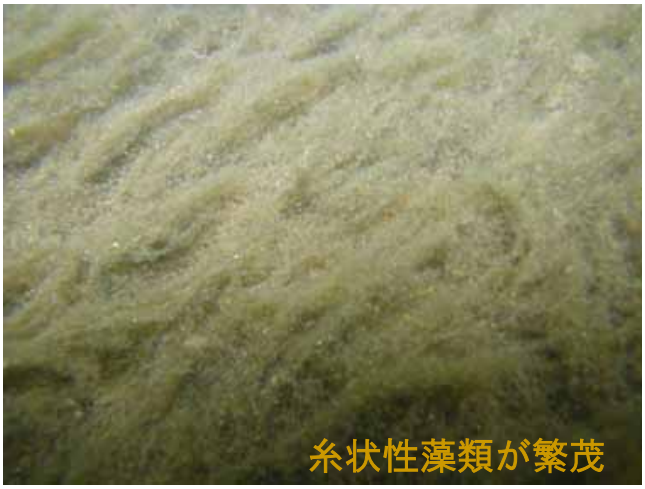
【別紙－１】リフレッシュ放流状況と効果

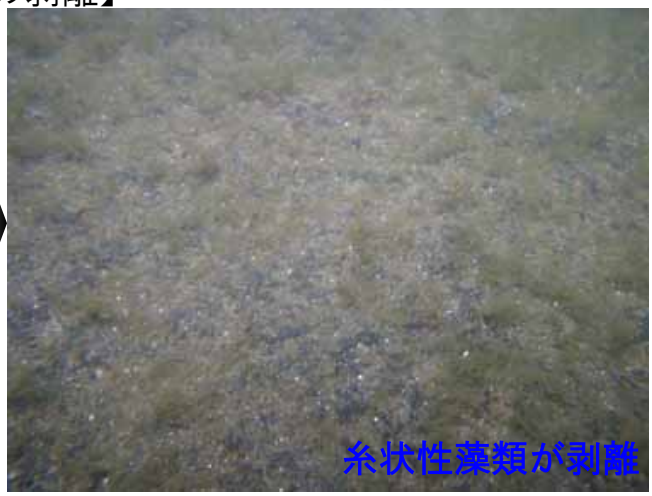
リフレッシュ放流状況

ダム流下量
約２０m3/s

リフレッシュ放流の効果

放流前　　【付着藻類の剥離】　　放流後





【よどみの解消】

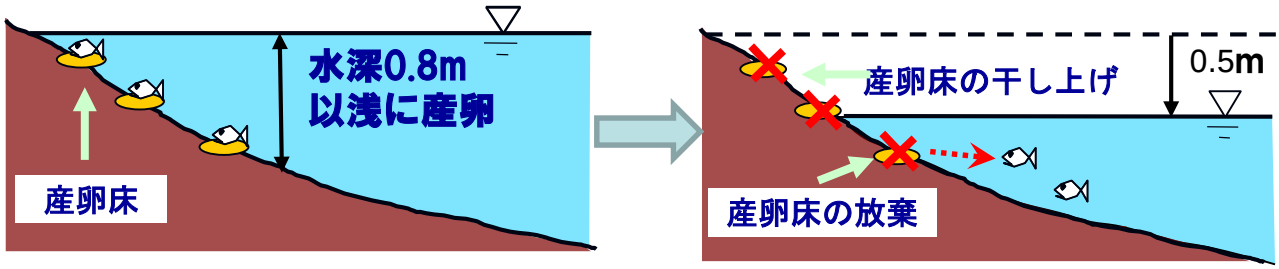
【別紙－２】リフレッシュ放流を利用したブルーギル産卵床の干し上げ

平成23年度まで
通常のリフレッシュ放流での水位低下幅（約0.3m）のみで実施

平成24年度～

平成23年度調査の結果、
・三春ダムのブルーギルの産卵水深は0.8mより浅い箇所
・リフレッシュ放流の時期とブルーギルの繁殖期が重複
⇒貯水位を0.5m下げた結果、ブルーギルの産卵床を干し上げ、または放棄させることができた。

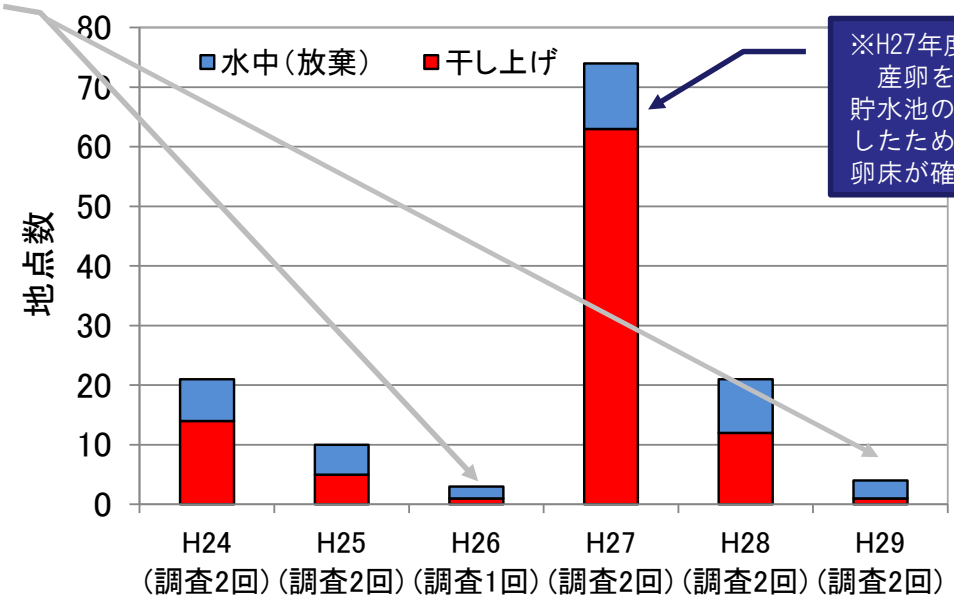
※ブルーギルの繁殖開始時期
水温が20℃以上で産卵を開始（→ 6月中旬～7月下旬頃）



ダムの水位を下げ、浅瀬に産み落とされた卵を干し上げる

リフレッシュ放流で「干し上げ」又は「放棄させた」
ブルーギル産卵床数（平成24～29年度）

※H26, 29年度：
出水があり予定していたリフレッシュ放流を実施出来なかった。



※H27年度：
産卵を促す条件と貯水池の運用が合致したため、多くの産卵床が確認された。